

2023年7月31日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社一寸房様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社一寸房様(北海道札幌市、代表取締役 上山 哲正様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会社名	株式会社一寸房
所在地	北海道札幌市中央区北2条西2丁目41番地
代表者	代表取締役 上山 哲正
業種	専門サービス業(設計・測量等)

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

一寸房グループ

サステナビリティ経営方針

一寸房グループは経営理念に基づき、社員が成長実感を感じながら働ける職場環境を構築し、持続的な企業価値の向上を図り、当社グループを支えていただいているステークホルダーと地域社会の持続的発展に貢献します。

Mission

一つ一つの小さな個の連なる、
大きな一つの集合体であることを目指す

Vision

社員の成長の場であり続ける

社員の汗の価値を高める企業



事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 働き方改革の進展
- 人権やジェンダーへの対応

経済・技術

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 設計/測量業務の技術革新

重要課題 (マテリアリティ)

取組内容

主なステークホルダー

1

事業活動による環境負荷の低減

- ① CO₂排出量の削減
- ② ペーパーレスの推進

地球環境

2

従業員の働きがい向上

- ① マネジメント層の教育
- ② DX人材の育成
- ③ 人材育成体制・カリキュラムの充実
- ④ ダイバーシティの推進

従業員

3

DX推進による社会課題解決への貢献

- ① DX(BIM/CIM/XR/CG)の活用によるイノベーション提供
- ② パートナーシップの構築

お取引先

4

コーポレートガバナンスの強化

- ① サステナビリティ経営の実践に向けた体制構築

株主
お取引先

サステナビリティ経営への取り組み



一寸房グループ

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境

エネルギー使用量の抑制やペーパーレスの推進により、事業を通じて豊かな自然環境の保全に努めてまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・ペーパーレス化の推進
- ・商談におけるWEB面談の活用推進
- ・廃棄物の削減や分別、リサイクル推進
- ・空調の適正温度の設定など節電の取り組み
- ・WEBでの環境への取り組みの掲載



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	事業活動による環境負荷の低減	CO ₂ 排出量の削減	・省エネの取り組みやデジタルの活用を継続し、CO ₂ 排出量の削減に取り組む
		ペーパーレスの推進	・デジタルの活用により紙使用量を毎年1%削減する



社会・地域

「一つ一つの小さな個の連なる、大きな一つの集合体であることを目指す」という経営理念のもと、一人一人が主役となれるよう、多様性のある職場づくりや人材育成を継続してまいります。また、地元人材の積極採用やボランティア等の地域貢献活動により、地域に必要とされ続ける企業を目指してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・国籍、年齢、性別、経験等を問わない多様性のある職場づくり
- ・有給休暇の取得推進
- ・ハラスメント禁止に向けた体制整備
- ・男性の育児休暇取得の推進
- ・労働時間管理体制による長時間労働防止
- ・地元人材の雇用
- ・安全衛生委員会による健康経営
- ・職場見学、インターンシップの実施
- ・定期健康診断、メンタルケアの実施
- ・OJTによる人材育成



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
2	従業員の働きがい向上	マネジメント層の教育	・毎年実施しているマネジメント層向け研修を継続し、2030年までにマネジメント層に占める女性比率を20%にする
		DX人材の育成	・BIM/CIM業務を行うことができる社員数を増加させる
		人材育成体制・カリキュラムの充実	・社員の育成体制を充実させ、スキルアップおよびモチベーションアップを図る
		ダイバーシティの推進	・国籍、年齢、性別、経験等を問わない採用を継続する ・男性の育児休暇取得率を向上させる

経済・ガバナンス

社内体制や規定等の整備によりコンプライアンスを徹底し、安心・安全なサービス提供を実践するとともに、BIM/CIMなどXR技術を活用したサービスにより、社会課題解決に貢献してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・XR技術を活用したサービス提供
- ・BCPの策定
- ・コーポレートガバナンス体制の構築
- ・内部通報制度の設置
- ・社内外への経営情報の開示
- ・リスクコンプライアンス委員会の設置
- ・個人情報保護に関する方針策定および徹底



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
3	DX推進による社会課題解決への貢献	DX(BIM/CIM/XR/CG)の活用によるイノベーション提供	・DXサービスの売上高を毎年増加させる ・ISO19650の認証取得をする
		パートナーシップの構築	・社会課題解決につながるサービス提供に向け、産学官のパートナーシップを構築する
4	コーポレートガバナンスの強化	サステナビリティ経営の実践に向けた体制構築	・2025/7期までにサステナビリティ委員会を設置する ・非財務指標の開示を充実させる

